

タスマニア一周の旅

K.O , I.O

期間 2014.3.14~3.25

3/14 23:30 発 大阪（関西国際空港）シンガポール（チャンギ国際空港）経由

3/15 18:15 着メルボルン（メルボルン空港）

03/16 08:40 発 09:55 着 ホバート（ホバート空港）

3月16日(日) ホバート~クレイドルマウンテン国立公園 クレイドル・マウンテンまで約 350km

ホバート空港からリッチモンドを經由して高速1号線に乗る(日本のバイパスの感じで無料。制限速度 110km)途中から B52 号の一般道路に出て、DELORAINE という街まで進む。ウルワースというショッピングセンターで買い物をする。お酒は売ってないので専用の店で購入。

途中、トロナ野生動物園(Trowunna Wildlife Park)によって行く。ここにはタスマニア固有種タスマリアンデビルを始め放し飼いにしたカンガルーなどを見ることができる。デビルどうしが与えられた動物の肉を奪い合って食べている様子に圧倒された。



ゆっくりしていると予約の門限に間に合わないので急ぐ。
B12 号線から C138 を經由して C132 号線に入る。
分岐から7kmほどで今日の宿泊地に着いた、



宿泊はクレイドルマウンテンウィルダネスビレッジ(Cradle Mountain Wilderness Village)のコテージに3泊する予定で日本から予約をしておいた。コテージはそれぞれ独立していて清潔でキッチンや食器などの装備もある。今回は4人用コテージに2人だけであったので快適そのものであった。



受付とレストラン



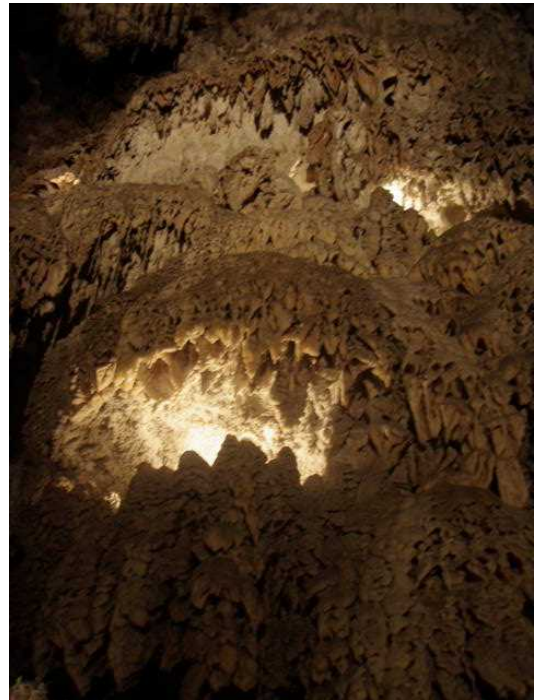
オーストラリアビーフを調理する

17日(月) マラクーパ洞窟見学

登山の予定で公園入り口のレセプションに行き、入園料を支払う。公園のガイド地図を貰う。

ダブ湖に向かうが天気は良くない。しばらく待っても天気が回復しないため今日の登山を諦めることに。

昨日来た道を引き返してマラクーパ洞窟の見学に出かける。マラクーパ洞窟は鍾乳洞で有名、土ポタルを見ることができる。



18日(火) クレイドル・マウンテンに登る

朝方まで雨が降り天気は良くないが、天気の回復を期待してクレイドル・マウンテンに登ることにする。予想通り天気は回復し、登山を予定通り終えることができた。しかし湖面にクレイドル・マウンテンの姿が映っている有名な風景を見ることができなかったことは残念である。

ただし天気が回復しダブ湖から眺めるクレイドル・マウンテンの美しさに十分触れることができたことはよかった。年末年始の混雑を避けてこの時期を選んだがトレッキングに最適な季節は夏の時期がよいようである。気温も結構低く寒かった。

ところで、タスマニアの最高峰はオーサ山(Mt Ossa 1,617m)で同じ国立公園内にある。この公園内を6日間かけて縦走するオーバーランド・トラック(65キロメートル)を利用して登ることができる。このトラックは小屋の利用人数に限りがあるため1日当たりの入山人数が決められている。

1982年にクレイドル・マウンテンセント・クリア湖国立公園を含む地域はタスマニア原生地域としてユネスコの世界遺産に登録されている。



朝方、山にはガスがかかっている



高度 1000m を超えると高山帯の様相



展望の良い高原台地 (Marione Lookout)



タスマニアは冷温帯気候で湿原が多い



天気が回復。標識の鉄棒を頼りに登る。最後 200m ほどの登りは岩場になる。歩幅が大きく鎖やはしごもないため結構登り辛かった。雨で岩が濡れているので滑りやすかった。



頂上には方位盤が設置されていた



ガイドブックから一部転載



下山途中から徐々にガスが晴れる(クレイドル・マウンテン全容)

